



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社プラザクリエイト
代表者の役職名 代表取締役社長 大島 康広
(JASDAQ コード番号 7502)
問 合 先 常務取締役管理本部長 村瀬 伸行
T E L 0 3 - 3 5 3 2 - 8 8 2 6

営業外費用の計上及び平成 28 年 3 月期連結業績の予想値と実績値との 差異並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成28年2月5日に公表した平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績の予想値と実績値の差異及び個別業績において前期実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績の予想値と実績値の差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	百万円 20,000	百万円 0	百万円 △450	百万円 △800	円 銭 △58.11
今回実績 (B)	21,003	△139	△563	△832	△60.47
差異額 (B - A)	1,003	△139	△113	△32	
増 減 率 (%)	5.0	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	18,992	339	295	211	15.32

差異の理由

当連結会計年度のプリント事業において、新しい店づくりのコンセプト及びスローガンとして、全店フォト&モア化の早期実現に積極的に取り組み、検証を行いながらリニューアルを積極的に進めてまいりました。直営店の既存店売上高は前年同期比100%を超えるなど、売上高はほぼ前回発表予想通りに推移いたしました。しかしながら、費用面については平成28年2月5日の公表時点の計画に対して、第4四半期において、店舗従業員向けの社員教育費用や新規人材獲得費用及び改装による施工費用の高騰などで想定以上に費用がかさみ、さらに新事業年度に向けて法人事業を新たな柱と位置づけ、チャンネル開拓に取り組んだ結果、販促費用等が計画を上回ったため、営業利益が前回予想を下回る見込みであります。

また、上記の理由で、経常利益及び当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

このような状況に対し、当社グループは、当連結会計年度に実施した店舗改革を確実に成長軌道に乗せるため、フォト&モアショップ及びモバイルのキャリアショップの店舗力の強化に取り組む所存であります。

2. 個別業績の前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回実績 (A)	5,280	57	189	187	13.57
今回実績 (B)	766	7	△433	△437	△31.82
差異額 (B-A)	△4,514	△50	△622	△624	
増 減 率 (%)	△85.5	△87.7	—	—	

差異の理由

当社は、前事業年度においてグループの組織再編の一環として、当社が営んでいたプリント事業の本部機能とモバイル事業の一次代理店業務について、平成26年10月1日付けで、吸収分割により当社の100%連結子会社である株式会社プラザクリエイトストアーズに対し移管しました。

この事業移管に伴い売上高と営業利益が減少しております。

また、経常利益及び当期純利益の減少理由としては、営業外費用に子会社の貸付金に対する貸倒引当金繰入れ5億10百万円（前期より5億23百万円増加）を計上したことによるものです。

以 上